

令和8年度 第1回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 議事録

日 時 令和8年7月14日（火） 19時00分～20時15分
場 所 高岡市役所 802 会議室
出席者 委員：17名、宮崎委員、山本(津)委員 欠席
アドバイザー：1名

1. 福祉保健部長挨拶

2. 協議会の設置目的・事業内容等について

3. 会長の選出

4. 報告・協議事項

(1) 令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方及び各ワーキングの方向性について

(2) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会活動体系図について 【資料 No. 2】

(3) 令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の事業計画（案）について
【資料 No. 3-1】～【資料 No. 3-5】

5. 意見交換

(1) 令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方及び各ワーキングの方向性について

〔委員〕

- ・高岡多職種ネットの活用状況では、登録参加者数だけでなく、実際の利用頻度や稼働状況を把握できないか。

〔事務局〕

- ・内容を確認しない方法で稼働状況が分かるか、システム会社に確認したい。

〔委員〕

- ・資料 No. 2の現状値の調査中の記載があるが、いつごろ明らかになるのか。

〔事務局〕

- ・運営協議会と連動して回答する予定であり、現時点では8月後半頃の予定である。

〔委員〕

- ・情報共有ツールは高岡多職種ネットにアップロードし、情報共有していくものでよい。そのツールにそれぞれの機関が追記していくことになるのか。

〔事務局〕

- ・高岡多職種ネットに情報共有ツールをアップロードし、多職種で共有する案が出ている。どのように利用するか協議しなければならない。そのためには、最初に情報共有ツールを活用する職種としてケアマネジャーが想定されるため、まずは、ケアマネジャー

等に記載していただき、アップロードしてもらうことを想定している。多職種が追記する場合には、ダウンロードしたものに追記し、再度アップロードする必要がある。

〔委員〕

・ケアマネジャーが情報共有ツールを記載した場合、生活状況や家族関連の情報提供が主になると考えている。今後、それに多職種の方も追記してアップロードする運用になればよいと思うが、まずは、ケアマネジャーが情報共有ツールをアップロードし、多職種と情報共有することが重要であると考えている。

〔会長〕

・情報共有ツールは、多職種からも追記等できたらいいが、まずは情報共有ツールをアップロードして多職種と情報共有することが大切である。入院時や急変時等に医師等が情報共有ツールを見ることで、その患者の状況がわかり連携できればよい。記載のご協力をいただきたい。

〔委員〕

・高岡多職種ネットは、理学療法士も活用させていただくことは可能か、また、情報共有ワーキンググループに、理学療法士として何かできることがないか、委員として参加することは可能か伺いたい。

〔事務局〕

・在宅生活の状況を情報共有するためのツールなので、ぜひ活用していただきたい。また、専門職種としての助言もいただきたい。ワーキングについては、今年度すでに始動しているので、お気づきの点はこの協議会等を通じて提案していただければ助かる。

〔会長〕

・来年度以降、ワーキングメンバーについて協議してはどうか。また、高岡多職種ネットは、担当患者の情報共有できるメンバーに登録することでその患者の情報を共有できるので、ご活用いただきたい。

〔委員〕

・委員になって初めて高岡多職種ネットを聞いた。以前に食事摂取量が減少しているショートステイの利用者がおり、ショートステイ利用時だけでなく、在宅生活でも支援が必要であると思った方がいた。今後は、高岡多職種ネットを利用して、情報共有し、在宅でも支援できるようにしていきたい。

〔会長〕

・職場内で、高岡多職種ネット等の多職種連携等について理解が得難い場合もあるため、栄養士会においても積極的に理解が深まるよう周知等に努めていただけるとよい。

〔委員〕

・訪問診療をする医師の状況を伺いたい。

〔委員〕

・既に開業している医師が新しく訪問診療を始めるのは難しいため、開業された医師に対して、病院を運営していくための疑問点等に対する相談対応を通して、個別に育成していく体制をとっている。

〔委員〕

・訪問診療をする医師の一覧はあるのか。

〔委員〕

- ・一覧となっているものはないが、保険医協会による冊子で、医療機関を確認することができる。毎年更新されている。

〔委員〕

- ・研修会参加や高岡多職種ネットの登録施設は増えている。高岡多職種ネットについてリハビリテーション専門職が集まる機会に周知していきたいと考えている。リハビリテーション専門職も登録することは可能かどうかと実際にどのような職種の人が登録されているか伺いたい。また、説明しやすい資料があればいただきたい。

〔事務局〕

- ・リハビリテーション専門職の方も登録は可能である。病院ごとの登録が必要になるため、まずは、登録していただきたい。現時点で作業療法士は20名ほど利用している。ぜひ、参加していただきたい。

〔委員〕

- ・私自身は活用させていただいている。病院の登録が必要なため、病院の方にも周知していききたい。

〔委員〕

- ・在宅診療している医師の人数は増えているのか。

〔委員〕

- ・維持しているが、医師も高齢化しているので将来的に減っていくと思っている。今後、在宅医療について、世代交代を見据え周知していききたい。

〔委員〕

- ・高岡多職種ネットで情報共有している患者かどうかわかるのか伺いたい。

〔委員〕

- ・部屋を開設する（情報共有する患者を登録する）時に、情報共有できる関係者を登録している。地域連携室等のワーカーから医師の参加は難しいというご意見を聞いたことがあったが、登録していただくことで情報共有することができる。登録は随時可能である。

〔会長〕

- ・高岡多職種ネットのオプション機能（救急機能）で登録していない医師であっても、緊急時に在宅の情報等共有できる仕組みがある。将来的にはその仕組みを利用できるようになればよいと思っているが、予算等の課題があり、実現できるかどうか不透明であるが、医師会としても薦めていきたい。

〔委員〕

- ・生活背景等複雑な患者が増えているので、情報共有していただけると助かる。

〔委員〕

- ・高齢者のワクチンの公的補助が充実してきており、ワクチン接種状況の情報が共有できたらよい。

〔事務局〕

- ・予防接種事務のデジタル化が国主導で進められており、健康増進課が担当している。A類疾病・B類疾病の予防接種の運用が可能である。マイナンバーカードを利用したシステムであり、近々、医師会へ説明に行きたいと考えている。

〔委員〕

・高岡多職種ネットを知らなかった。サマリー等もアップロードすることは可能か伺いたい。

〔会長〕

・アップロードすることは可能である。ただし、独立したネットワークのため、既存のシステムからサマリー等を PDF にしていただき、高岡多職種ネットが装備されているパソコンにアップロードする作業が必要である。医師も利用登録していただき、サマリー等を情報共有していただけると助かる。

〔委員〕

・高岡多職種ネットの利用者数が増えているが、在宅患者への情報共有以外にも利用されていると思うので、実際どのように使われているかを示していただけるとよい。人生会議については、親世代を介護する 40・50 代への周知が必要ではないかと思う。

〔事務局〕

・人生会議について、若い時から考えていただきたいことから、TAKAOKA アプリに人生いきいきノートアプリ版を搭載し、記入できるようにしているが、年代によって人生会議を行うきっかけが違うのではないかと思われ、周知方法も年代によって異なると考えている。どの年代にどのように働きかけていけばよいか、委員の皆様からご意見をいただきたい。部会においては、老人クラブや民生委員に普及していけばという意見もあったが、また皆様からもご意見を伺いたい。

〔会長〕

・この協議会には、3 つ大切なテーマがあると考えており、1 つ目は人材の問題、2 つ目は、高岡多職種ネットを活用した情報連携の推進、3 つ目は ACP の普及啓発である。引き続き議論していきたい。最後に越田先生からご助言をいただきたい。

〔アドバイザー〕

・会長がお話しされた 3 つのテーマは、どれも大切なテーマであると感じている。特に連携の部分は、このように、集まって協議する場があることが素晴らしいことである。これを進めていただき、皆さんと一緒に考えてまいりたい。

6. 事務連絡

(1) 市民健康フォーラムについて 【資料 No. 4】

(2) 高岡多職種ネット事故報告について 【資料 No. 5】

7. 閉 会